

2024 年  
IBTF世界フリースタイル選手権大会  
日本代表選考会九州予選

競 技 規 定  
審 査 規 定



日本バトン協会九州支部



# フリースタイル個人

## 1. ショートプログラム

### ・ジュニア

#### (1) 競技規定

- ① 人数 …1名
- ② 使用するバトン …レギュラーバトン1本
- ③ 競技フロア …縦15m×横14mの広さを目安とする
- ④ 規定曲(時間) …女子: Into the Splendid World/1分21秒  
男子: Challenging Into the Future/1分21秒
- ⑤ 内容 …8つの必須スキルを規定通りに行う

#### プログラム構成

#### 必須エレメント

※アクセサリーマテリアルは行わない

ア) すべての必須エレメントは正面向きで行う

イ) 必須エレメントを行っている間、バトンは時計回りに回転する

ウ) 必須エレメントは1拍目で開始し、8カウント未満で終了する(エレメント1と7はカウント通りに行うこと)

1. トラベリングコンプレックス – グランジュテ
2. 1スピンドラインドキャッチ
3. 4エルボーレイアウトロール
4.  $2\frac{1}{2}$ フラットバックネックロール
5. 左手ホリゾンタル右1スピン~バックキャッチ
- 6a. バーティカル コンタクトマテリアル
- 6b. ホリゾンタル コンタクトマテリアル
7. ステーションナリーコンプレックス – リバースイリュージョン
8. 2スピン左手キャッチ

#### ⑥ コスチューム

[女子] 飾りのないレオタード(袖なし) 髪の装飾不可

足首までのソックスまたは肌色のタイツ

シューズは白・ベージュ・黒色は可

[男子] 飾りのないU・Vネックのトップス(袖なしまたは半袖)と長パンツの組み合わせ、

またはワンピーススーツ

パンツと同色の足首までのソックス

シューズは白・ベージュ・黒色またはパンツと同色可

※IBTF 規定に準ずる。<https://www.ibtf-batontwirling.org/>

※競技前にコスチュームのチェックを行う。審判員(フロアモニター)はコスチュームの不備等により、訂正を指示することがある。

※選手は、審判員(フロアモニター)より上記指示を受けた場合速やかに訂正しなければならない。

#### (2) 審査規定

- ① 必須エレメント 各10点(小数点第1位まで)
  - ア) バトンとボディの正確さ
  - イ) バトンとボディの明確さ

### ・シニア

#### (1) 競技規定

- ① 人数 …1名
- ② 使用するバトン …レギュラーバトン1本
- ③ 競技フロア …縦15m×横14mの広さを目安とする
- ④ 規定曲(時間) …女子: Into the Splendid World/1分21秒  
男子: Challenging Into the Future/1分21秒
- ⑤ 内容 …8つの必須スキルのつなぎに自由な振付を組み合わせる

## プログラム構成

### 必須エレメント

- ア) すべての必須エレメントは正面向きで行う  
イ) 必須エレメントを行っている間、バトンは時計回りに回転する  
ウ) 必須エレメントは1拍目で開始し、8カウント未満で終了する（エレメント1と7はカウント通りに行くこと）
1. トラベリングコンプレックス – グランジュテ
  2. 1スピンドラインドキャッチ
  3. 4エルボーレイアウトロール
  4.  $2\frac{1}{2}$ フラットバックネックロール
  5. 左手水平右1スピン～バックキャッチ
  - 6a. パーティカル コンタクトマテリアル
  - 6b. 水平 コンタクトマテリアル
  7. ステーションナリーコンプレックス – リバースイリュージョン
  8. 2スピン左手キャッチ

### アクセサリマテリアル

（各エレメントの間に行われるつなぎの動作で、内容はIBTF規定に準ずる。）

1. コンタクトマテリアルモードのトワール  
（フリップ、スウィング、ラップ、フルハンド、フィンガー、デッドスティックなど）  
※パーティカルフリップは、バトンのセンターが腕を頭上に伸ばした高さより高くなならないこと。  
パーティカルリリース（右手/左手）は、1回転以内のフリップであること。  
水平フリップは、どのプレーンにおいても $1\frac{1}{2}$ 回転以内であること。
2. ハンドロール及びシングルエレメントロールは可  
フィッシュテールやフルエンジェルロールなどのダブルロールは不可
3. 全てのダンスの動作は可  
カートウィール、イリュージョン、ウォークオーバー（片手/両手・前方/後方）、  
スプリット・フロアロール、倒立などのアクロバティック動作は可  
空中アクロバティック動作は不可

## ⑥ コスチューム

[女子] 飾りのないレオタード（袖なし） 髪装飾不可

足首までのソックスまたは肌色のタイツ

シューズは白・ベージュ・黒色は可

[男子] 飾りのないU・Vネックのトップス（袖なしまたは半袖）と長パンツの組み合わせ、

またはワンピーススーツ

パンツと同色の足首までのソックス

シューズは白・ベージュ・黒色またはパンツと同色可

※IBTF規定に準ずる。 <https://www.ibtf-batontwirling.org/>

※競技前にコスチュームのチェックを行う。審判員（フロアモニター）はコスチュームの不備等により、訂正を指示することがある。

※選手は、審判員（フロアモニター）より上記指示を受けた場合速やかに訂正しなければならない。

## (2) 審査規定

- ① 必須エレメント 各10点（小数点第1位まで）  
ア) バトンとボディの正確さ  
イ) バトンとボディの明確さ
- ② コンポジション 10点（小数点第1位まで）  
ア) 音楽との調和  
イ) 効果的なデザイン
- ③ パフォーマンス 10点（小数点第1位まで）  
ア) 表現力  
イ) アクセサリマテリアルにおけるドロップを加味する
- ④ ペナルティ  
ア) アクセサリマテリアル違反行為（禁止動作）1回につき2.0点減点

## 2. フリースタイル演技

### (1) 競技規定

- ① 人数 …1名
- ② 使用するバトン …レギュラーバトン1本
- ③ 競技フロア …縦15m×横28mの広さを目安とする
- ④ 曲(時間) …ジュニア1分30秒から2分  
シニア2分から2分30秒の自由曲を使用
- ⑤ 内容 …1本のバトンを使って以下の技術を競う  
**プログラム構成** 以下の組み合わせでルーティーンを構成する  
**内容のガイドライン** (NJS(ニュージャッジシステム)からの提案)
  - ア) エアリアル …ジュニア・シニア共に5つ
    - ・コンティニアス(ピュア)スピン
    - ・ステーションアリーコンプレックス
    - ・トラベリングコンプレックス※それ以外に自由に2つ  
推奨
    - ・総数の内1つは水平のもの
    - ・総数の内1つは左右グラブ、左右キャッチ以外のノンスタンダードキャッチのもの
    - ・総数の内1つは左右サム、左右バックハンド、左右水平トス以外のノンスタンダードトスのもの
  - イ) ロール …水平と垂直の両方
  - ウ) コンタクト マテリアル …水平と垂直の両方
- ⑥ コスチューム  
スポーツであることを前提に、コスチュームに関する規定は設けない  
手のひらと顔を覆うようなものは不可  
※IBTF規定に準ずる。<https://www.ibtf-batontwirling.org/>  
※競技前にコスチュームのチェックを行う。審判員(フロアモニター)はコスチュームの不備等により、訂正を指示することがある。  
※選手は、審判員(フロアモニター)より上記指示を受けた場合速やかに訂正しなければならない。

### (2) 審査規定

- ① テクニカルメリット
  - ア) テクニック
  - イ) スピード
  - ウ) 3モード(エアリアル・ロール・コンタクト マテリアル)のバラエティー・ディフィカルティー
  - エ) ボディワークのバラエティー・ディフィカルティー
  - オ) ディフィカルティー
  - カ) クリアネス&シユアネス
- ② アーティスティックエクスペリション
  - ア) ジェネラルコンテンツ
  - イ) ビジュアルミュージカルティー
  - ウ) 空間の利用度
  - エ) チェンジオブペース
  - オ) スキルの要求度
  - カ) 演技の優秀さ
  - キ) 正確さ
  - ク) エンターテインメントの価値/プロフェッショナリズム
- ③ 採点・ペナルティ
  - ア) 10点法(小数第2位まで)で採点する
  - イ) 決勝は同点なしで採点する
  - ウ) ドロップペナルティを加味し、総合評価で採点する
  - エ) 違反の場合、ペナルティシートにて警告するが減点はしない

# フリースタイルペア

## 1. ペア

### (1) 競技規定

- ① 人数 …2名
- ② 使用するバトン …レギュラーバトン2本(各1本)
- ③ 競技フロア …縦15m×横28m
- ④ 曲(時間) …ジュニア1分30秒から2分  
シニア2分から2分30秒の自由曲を使用
- ⑤ 内容  
**プログラム構成** フリースタイル演技内容をコンセプトに、エクステンジを含む  
エクステンジの種類…パターン、プレーン、高さ、バトンが描く空中の絵柄、3モード、  
リリース、キャッチ、ボディワーク、使用されるバトンの数(1本または2本)、その場または移動しながらの交換。相手を見ずにあらゆる  
状況に対応する順応力を表現する
- ⑥ コスチューム  
スポーツであることを前提に、コスチュームに関する規定は設けない  
手のひらと顔を覆うようなものは不可  
※IBTF規定に準ずる。<https://www.ibtf-batontwirling.org/>  
※競技前にコスチュームのチェックを行う。審判員(フロアモニター)はコスチュームの不備等により、訂正を指示することがある。  
※選手は、審判員(フロアモニター)より上記指示を受けた場合速やかに訂正しなければならない。

### (2) 審査規定

- ① 内容
  - ア) バトンとボディのバラエティー・ディフィカルティー
  - イ) エクステンジ
  - ウ) 移動しながらのバトントワーリング
  - エ) 両手使い
- ② 実施
  - ア) 滑らかさと流れ
  - イ) 音楽との関わりでの速さ
  - ウ) ボディポジションの均一性/トスの高さ、回転、リリース&キャッチ
  - エ) バトンとボディの正確な技術
  - オ) ペアワーク
- ③ 全体的効果
  - ア) 音楽の解釈とビジュアルミュージカリティ
  - イ) 時間と空間の利用
  - ウ) ステージング
  - エ) 一貫性と論理的な展開
  - オ) エンターテインメントの価値
  - カ) 表情と身仕舞い
  - キ) プロフェッショナルリズム(リカバリー能力、ペアの責任)
- ④ 採点・ペナルティ
  - ア) 100点法(小数第1位まで)で採点する
  - イ) 決勝は同点なしで採点する
  - ウ) ドロップペナルティを加味し、総合評価で採点する
  - エ) 違反の場合、ペナルティシートにて警告するが減点はしない

# フリースタイルチーム

## 1. チーム

### (1) 競技規定

- ① 人数 …6名から8名
- ② 使用するバトン …レギュラーバトン6本から8本(各1本)
- ③ 競技フロア …縦15m×横28m
- ④ 曲(時間) …3分から3分30秒の自由曲を使用
- ⑤ 内容

**プログラム構成** フリースタイル演技とフリースタイルペア内容をコンセプトに、バトンとボディのユニゾン性、シンクロニック トワーリング、バトンとボディが一体となった変化や困難度、音楽解釈に基づくステージング・フォーメーションを表現する

### ⑥ コスチューム

スポーツであることを前提に、コスチュームに関する規定は設けない

手のひらと顔を覆うようなものは不可

※IBTF 規定に準ずる。 <https://www.ibtf-batontwirling.org/>

※競技前にコスチュームのチェックを行う。審判員(フロアモニター)はコスチュームの不備等により、訂正を指示することがある。

※選手は、審判員(フロアモニター)より上記指示を受けた場合速やかに訂正しなければならない。

### (2) 審査規定

#### ① 内容

ア) バトンとボディのバラエティー・ディフィカルティー

イ) エクスチェンジ

ウ) 移動しながらのバントワーリング

エ) 両手使い

#### ② 実施

ア) 滑らかさと流れ

イ) 音楽との関わりでの速さ

ウ) ボディポジションの均一性/トスの高さ、回転、リリース&キャッチ

エ) バトンとボディの正確な技術

オ) チームワーク

#### ③ 全体的効果

ア) 音楽の解釈とビジュアルミュージカリティ

イ) 時間と空間の利用

ウ) ステージング

エ) 一貫性と論理的な展開

オ) エンターテインメントの価値

カ) 表情と身仕舞い

キ) プロフェッショナリズム(リカバリー能力、チームの責任)

※選手は、演技中に声を掛け合わないこと

#### ④ 採点・ペナルティ

ア) 100点法(小数第1位まで)で採点する

イ) 決勝は同点なしで採点する

ウ) ドロップペナルティを加味し、総合評価で採点する

エ) 違反の場合、ペナルティシートにて警告するが減点はしない

# その他の競技規定

## 1. 全種目共通

- (1) ボールとティップは新しいものを使用すること。競技前にバトンのチェックを行う  
シャフトの錆については、各団体の責任において安全性を確認の上使用すること、但し過度な錆の場合、大会本部において使用不可とする場合がある。
- (2) バトンのシャフトはどのような色を使用しても良い
- (3) バトンのシャフトに貼るテープの色は黒・グレーまたは白の2色。ただしグリップテープはシャフトの長さの $\frac{1}{2}$ までとし、センターから同等に巻くこと。(1色はラッピング用、もう1色はセンターマーク用)
- (4) グリップテープは隙間なく巻いても、ストライプ状でも渦巻状でもよい
- (5) テープやテープの類似品以外の付属品等を使用することはできない(視覚的補助及びハンドリング補助のためは可)
- (6) フリースタイルペア・フリースタイルチームは、グリップテープの色や巻き方を同一にすること
- (7) 競技フロアヘタオール・パウダー等バトン以外を持ち込んで서는ならない
- (8) 怪我のための包帯等は可
- (9) 必要ならばメガネは可。サングラス・光りものによる顔の装飾、ピアス、アクセサリ類は全て禁止する
- (10) 付け爪、マニキュア等、爪の装飾は全て禁止する
- (11) スポーツ競技であることを前提に、適度なステージメイクアップは良い。装飾(顔に模様を描く等)は禁止する

### <参考>

IBTF競技におけるバトンの定義：標準的なバトンとは、クロムメッキ／銀メッキされたスチールシャフトで、錘の白いゴム球が叩打または圧入され、先端を覆ったものを指す。バトンは、サイズと重量によって様々なバランスポイントを持つ。一般的な長さは、14～32インチ(35.5～81.5cm)で、直径は $\frac{3}{8}$ インチ(10mm)、 $\frac{5}{16}$ インチ(8mm)、 $\frac{7}{16}$ インチ(11mm)のいずれかである。その重さは約8オンス(227グラム)で、長さや直径によって決定される。

## 2. その他

- (1) 大会の主旨及び実施要項・競技規定・審査規定に反する行為を行った場合、警告または次回大会出場停止とする
- (2) 競技規定・審査規定の主旨を変更することなく、理事会において加除訂正を行うことができる



# 順位規定

## 1. 審査

- (1) 審査員長・副審査員長  
審査員長1名、副審査員長1名とし、審査の円滑な遂行を統括する
- (2) 審査員・ペナルティ審査員
  - ① ショートプログラム
    - ・ジュニア  
審査員は1～2名（必須エレメント）
    - ・シニア  
審査員は4名（必須エレメント2名、パフォーマンス・コンポジション1名、ペナルティは1名とする）
    - ・必要に応じて、審判員（フロアモニター）は1名以上とする
  - ② フリースタイル演技・フリースタイルペア・フリースタイルチーム
    - ・審査員は5名とする。
    - ・必要に応じて、審判員（フロアモニター）は1名以上とする

\*実施要項・競技規定・審査規定の主旨を変更することなく、理事会において加除訂正を行うことができる

## 2. 順位

### (1) フリースタイル個人

#### ショートプログラム

・ジュニア

- ① 全審査員の平均点を算出し、80点満点を100点法に換算する
- ② ①を10点法に換算したものを得点とする

・シニア

- ① [必須エレメント]審査員の平均点を算出する
- ② [パフォーマンス・コンポジション]審査員の平均点を算出する
- ③ ①と②を合計し、[ペナルティ]審査員の平均点を差し引く
- ④ ③を10点法に換算したものを得点とする

#### フリースタイル演技

- ① 全審査員の最高点・最低点を除いた平均点をフリースタイル演技得点とする

#### 総合成績

- ①選考は次の通りとする

ア) フリースタイル演技得点の90%とショートプログラム得点の10%を加算し決定する。得点合計の高い方を上位とする

イ) 同位になった場合のみ次の優先順に従って順位を決定する

優先順1 同位者のみフリースタイル演技の全審査員点数合計の平均点の90%と、ショートプログラムの得点の10%を加算し決定する

優先順2 全審査員の投票によって決定する

(2) フリースタイルペア

① 選考は次の通りとする

ア) 各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する

イ) 1位が同位になった場合のみ次の優先順に従って順位を決定する

優先順1 全審査員の席次点合計の低い方を上位とする

優先順2 全審査員の最高点・最低点を除いた得点合計の高い方を上位とする

優先順3 全審査員の得点合計の高い方を上位とする

優先順4 審査員の投票により決定する

(3) フリースタイルチーム

① 選考は次の通りとする

ア) 各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する

イ) 1位が同位になった場合のみ次の優先順に従って順位を決定する

優先順1 全審査員の席次点合計の低い方を上位とする

優先順2 全審査員の最高点・最低点を除いた得点合計の高い方を上位とする

優先順3 全審査員の得点合計の高い方を上位とする

優先順4 審査員の投票により決定する